

海外事務所 主な活動報告（令和 5 年 6 月）

《ワシントン州事務所》

6月23日、公益財団法人国際農業者交流協会が主催する海外農業研修の参加者29名がワシントン州に到着。州内のカレッジで2か月間の語学研修を行った後、それぞれが全米各地に移動し、農業実習を受けることとなる。

今回、兵庫県出身の2名が参加しており、8月下旬～来年10月上旬の間、両名ともワシントン州内で実習する予定で、実習先は有機鶏卵生産者、落葉果樹農家となっている。

両名には、研修に先立って、情報提供を行ったほか、シアトル来訪時に当事務所で面談できるよう調整している。

なお、過去には、参加者が体調不良により研修を中断して帰国した事例もあるところ、今回は2名ともワシントン州内で実習することから、随時連絡を取るなど、研修を完了できるよう必要に応じて支援していきたい。

＜海外農業研修＞

○日 程 6月23日(金)

○場 所 ワシントン州立ビッグバンドコミュニティカレッジ



語学研修の様相

《パリ事務所》

6月7日、日本古美術専門ギャラリーの個展初日のレセプションでGIはりまの日本酒を提供し、来場者延べ約60人に対し兵庫の酒の消費拡大に向けたPRを実施した。

フランスでは日本食レストランで日本酒を飲む機会はあるものの、ワインのように個人で購入するのは一部愛好家に限られている。今回、フランス人ソムリエに依頼して、GIはりまの3銘柄とそれぞれに合うチーズを選定の上、当日もソムリエから「日本酒はチーズとのマリアージュ（組合せ）を楽しみながら、ワイン感覚で気軽に飲める」とのPRを行った。

特に若い来場者からは日本酒を身近に感じたとの反応があり、料理やチーズとの合わせ方、日本のGI制度や酒米の山田錦等について多くの質問を受け、関心の高さがうかがえた。

今回は、美術関係者やフランス人ソムリエとの連携、チーズと組み合わせたPR、兵庫県酒造組合連合会制作のPR動画（フランス語、10分）の上映、淡路線香との相性（線香を焚いてもテイastingに影響がないこと）の確認など、当事務所にとって様々な試行を兼ねたイベントであった。この経験を踏まえて、今後も効果的なPRイベントを実施していく。



ソムリエ（左）による紹介

《香港経済交流事務所》

6月15日から18日、香港コンベンション&エキシビションセンターにて香港国際旅遊展(ITE)が開催され、59か国・地域から499団体(昨年度:32か国・地域から107団体)が出展し、約62千人(昨年度:約34千人)の来場者で賑わった。

当事務所は、ひょうご観光本部と日々緊密に連携を図りながら、現地拠点としての機能をフルに発揮して兵庫県ブースを出展。「兵庫テロワール旅」を前面に打ち出しつつ、「ひょうごフィールドパビリオン」の告知も行い、来場者の関心を誘った。



賑わう兵庫県ブース

<香港国際旅遊展(ITE)への出展>

○日 程 6月15日(木)～6月18日(日)

○場 所 香港コンベンション&エキシビションセンター